

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称		
303.3	障害者ボランティア養成事業	01	一般会計	01	一般会計		
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	03	民生費	03	民生費	
			01	社会福祉費	01	社会福祉費	
			04	障害福祉費	04	障害福祉費	
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		101	障害者福祉一般事業	101	障害者福祉一般事業	
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	01	障害者福祉一般経費	01	障害者福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	ボランティア活動に意欲のある市民	ボランティア養成事業を受講することにより、地域で障がいのある人を支えるボランティアの担い手として活動することができる。		
本年度事業内容	心身障害者ボランティア養成事業:伊賀市社会事業協会へ委託			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,859	5,100	2,950
委託料	320	450	450
その他	2,539	4,650	2,500
合計(A+B)	3,579	5,820	3,670
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,579	5,820	3,670
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
延べ参加者数	人	300	320	340			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
参加者数	のべ参加者数を指標とする。	人	300 目標 (500)	320	340
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 旧上野市から伊賀市社会事業協会へ委託を行ってきた経緯がある。 養成事業の開催については、市の広報誌を通じて周知啓発を行っている。 養成事業を開講することにより、その後ボランティア活動従事者として定着しているかどうかの検証を行う必要がある。 委託額が適正であるかどうか、検証する必要がある。

評価	必要性	4	障がいのある人を地域で支える担い手としてのボランティア育成事業は重要なことであるが、本事業が効果的に実施されているのかどうかを検証して、事業の適正化を図る必要がある。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		